



笠 山

阿久根市立三笠中学校

学校便り 令和7年7月号

学校教育目標：分かる授業 楽しい学校 夢の実現

～保護者・地域とともにある学校～

創立79年目

校 訓： 自 主 協 調 持 続

主体性をもって楽しむ夏休みに

校長 徳重 忠彦

4月8日の始業式で、チーム担任制を始めるに当たり生徒のみなさんに次のことを話しました。

- 令和7年度の三笠中は生徒一人一人が自分で考え、クラスをつくっていきます。
クラスの目標を決め、課題を自分たちで発見し、解決の方法を考えて、行動します。
- 生徒みんなで学級をつくっていきます。
 - 体育大会や文化祭、合唱コンクールは生徒が中心で頑張ります。
 - 心配なこと、勉強で分からないことは、どの先生にも相談ができます。

このことは、学校教育目標の実現に向けて、折多小、脇本小とともに新たに見直した、「めざす生徒像（校訓）」の「進んで学び、学んだことを生かす生徒（自主）」と「めざす教師像」の「持続可能な社会の創り手を育成する教師」の内容を具体化するために生徒のみなさんに示したものです。

難しく書きましたが、標題にもあるとおり、生徒のみなさんが「主体性をもって」行動するにはどうすればよいかと先生方と検討しました。7月に実施した合唱コンクールを始めとして、現在は生徒会の保健体育部を中心に体育大会、文化部を中心に文化祭、生活部を中心に校則検討委員会を進めています。これまでは、私たち教職員が企画、運営の中心として学校行事等を行ってまいりましたが、今年は企画の段階から生徒が参加し、自分たちでアンケートをとることで全校生徒の意見を集約するとともに自ら企画、運営も行っています。初めてのことばかりで上手くいかないこともあるかもしれませんが、一つ一つを前向きに取り組むことで、校訓である「目標をもち、粘り強く最後までやり抜く生徒（持続）」が増えていき、「感謝と思いやりで、仲間と笑顔で過ごす生徒（協調）」がたくさんいる三笠中学校になっていくことを願っています。これらのことから、今回の体育大会は、従来と比べ組編成や種目編制に大幅な変更がありますが御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

さて、話は変わりますが、夏休みが始まって2週間が経ちます。今年の夏休みも暦の関係で44日の長い夏休みとなっています。暑い中ですが生徒たちは部活動や朝ランニングも一生懸命頑張っています。学習についても、計画的に取り組み、2学期以降の伸びを信じて取り組んでください。

最後に、標題を「主体性をもって楽しむ夏休みに」としたのは安全面、生活面の心配からです。昨年も何度かお伝えしましたが、自転車の乗車時のヘルメット着用については、登校時だけではなく、普段の生活でも着用しなければなりません。主体的に自分の身を守る、周りの人たちの安全も守るということを御家庭でも話題にいただけるとありがたいです。他にも交通安全や水難事故防止、そして危険な遊びやSNSの使い方等、周囲を見渡せば果てしませんが、身体も心も、「自分を大切に。そして、他の人の大切さも認める。」ことを心掛けていきましょう。出校日があと1日間ありますが、9月1日（金）に、全員の元気な笑顔を見るのが私の願いです。元気で、笑顔あふれ、主体性をもった夏休みにしていきましょう！！

合唱コンクール ～歌声響く三笠中～

12日に合唱コンクールが行われました。各学年、音楽の授業の他、朝の時間、昼休み等を使い練習を重ねてきました。合唱コンクール当日を迎えるまでに、それぞれの学級で様々なドラマがあったことだと思います。学級で抱える問題をみんなで乗り越え、作ってきた合唱がハーモニーとなって披露されました。講師の鹿児島大学教授の日吉先生から事前に合唱指導をしていただくと、歌声が大きく、美しく変わっていくことを実感できました。

合唱の楽しさを実感することができました。金賞は、3年生でした。銀賞は2年生、1年生でした。春の祭典代表は2年生でした。生徒の皆さん素敵な時間を有り難うございました。

(金賞 3年生の合唱)



PTAミニバレーボール大会

PTAの親睦を目的に、合唱コンクール後の午後に、「PTAミニバレーボール」大会が開催されました。各学年ごとにチームを編成し対戦しました。好プレーで沸き、珍プレーで笑い、ともに汗をかき、楽しい時間になりました。優勝は、2年生チームでした。出場された皆さんお疲れ様でした。



(熱戦の様子)



(優勝 2年生)

第1回家庭教育学級 (伝え合うを体験しよう)

7/12(土)に、第1回家庭教育学級を行いました。当日は16名の保護者の方が参加し、「サイコロトーク」を行いました。活動を通して、子育てに関する情報交換等を行いました。お互い伝え合うことで、安心でき、解決策を考えたりすることができました。今後も、来年の2月まで家庭教育学級はありますので、多くの保護者の方の参加をお待ちしています。



ここを紡いでみませんか？

～「ここを紡ぐメッセージ」～

コンクールの趣旨は次のとおりです。

小・中学生は保護者へ、保護者の方は小・中学生へのメッセージを作成し応募する取組です。お互いの存在について考える契機とすることを目的としています。伝えたい思いを『ここを紡ぐメッセージ』としてお送りください。生徒は、夏休みの課題として取り組みます。保護者の方々も市教育委員会に応募してみてください。

シーサイドステーションinあくね μFM出演

21日の「海の日」にμFMによる「シーサイドステーションinあくね」が放送され、3年生の野畑まことさんと又間百合さんが出演し、阿久根市のアピールと三笠中学校のよいところの紹介、将来の夢などを県内に発信してくれました。特設スタジオを脇本海岸に設置しそこからの放送をしました。海岸には多くの人が阿久根の夏を楽しんでいました。アナウンサーと二人の明るいやりとりを聞いて、元気になったリスナーの人たちも多かったと思います。野畑さん、又間さんありがとうございました。



(出演中の様子)



(アナウンサーとの記念撮影)

7/26(土) みどこい祭り ハンヤ総踊り

PTAの取組として2年生が中心となり、ハンヤ踊りに参加しました。夏の思い出の一つになりました。



県総体、県吹奏楽コンクールの結果 ～頑張った三笠中生～

3年生にとっては集大成の、県中学総体及び県吹奏楽コンクールが7月下旬に行われました。この日を迎えるまでたくさんの努力があったことでしょう。日々の練習で培ってきた力を発揮してきました。結果は、次の通りです。陸上部 2年男子100m予選敗退 男子低学年100mH予選敗退 1年女子100m予選敗退、男子バスケットボール部 初戦惜敗、女子バスケットボール部 初戦惜敗、剣道部 女子個人初戦惜敗、柔道 団体初戦敗退 55kg級初戦惜敗 90kg級第4位、吹奏楽部銀賞 出場した生徒の皆さんお疲れ様でした。

戦後80年という節目の夏を迎え、平和の大切さを改めて感じる時期です。多くの人々が平和のために努力し、犠牲を払ってきました。私たちが今享受している平和と繁栄は、過去の犠牲と努力の上に成り立っています。未来の世代に平和の重要性を伝えていくことが大切です。過去の教訓を胸に、争いのない世界を目指して、日々の生活の中で小さな平和の種をまいていきたいものです。この夏、どのように平和について考え、行動していきたいですか？

学校ホームページでカラー版を見ることができます。また、最新の情報は学校ブログで更新しています。

アドレスはこちら→ <http://www.mikasa.akune-school.net>

または、右の2次元バーコードをスマホのカメラ機能で読み込んでください。または、阿久根市立三笠中学校で検索する

